

横曽根地区の古道を歩く

1. はじめに

メインとなる資料

「二万分之一迅速測図」と「新編武蔵風土記稿」「武蔵国郡村誌」

「武蔵国郡村誌」による明治初期の横曽根村

- ・戸数 本籍二百九戸（平民）、寄留二戸（平民）、社三戸（村社一社、平社二社）、寺七戸（新義真言宗二字、浄土宗三字、日蓮宗一字、曹洞宗一字）、総計二百二十一戸。
- ・民業 男、農を専とするもの三百五十一人、工を業とするもの五人、商を業とするもの二十九人、雑業をなすもの十五人、女は農を業とす。
- ・4本の主要道路。
 - A 中道。村の北方塚越村界より西南浮間村界に至る。長二十四丁七間。巾二間。
 - B 村道。村の西南下戸田村界より東北下青木村界に至る。長十一丁五十二間。巾二間。
 - C 村道。村の北方中道より分れ東南川口町界に至る。長十四丁二十七間。巾二間。
 - D 新田道。村の西北中道より分れ北西下戸田村界に至る。長八丁五十八間。巾二間。

2. 古道をたどる

- ②地点 横曽根村の基幹用水である大井堀の痕跡。迅速測図によると用水に沿って細い道が続いていた。大井堀を遡ると、六ヶ村用水（現在の緑川）へ。線路の手前でC村道に接していたと思われるが、痕跡は全く無し。
- ③地点 これよりA中道を進む。ただし道幅は拡幅されている。
- ④地点 ④地点から西に向かう道はD新田道。
- ※享和2年（1802）銘の庚申塔（道標）。東面に「右 前川道 左 善光寺道」、西面に「左 わらび道」とある。現在の交差点は耕地整理後のものだが、④地点の十字路と同一地点である可能性あり。
- ※足立坂東三十三霊場では善光寺24番、前川観音32番、新四国八十八箇所では善光寺71番、前川観音65番。
- ⑤地点 耕地整理で新設された道を西に進むが、東側の道は旧道の名残を示す。
- ⑥地点 地蔵院。
- 「新編武蔵風土記稿」足立郡横曽根村
地蔵院。同（西福寺）末なり、運慶山と号す、本尊地蔵を安ず、開山を本誉伝秀と云、慶長十四年（1609）二月朔日寂す。
- ⑦地点 西福寺。
- 「新編武蔵風土記稿」同上
西福寺。浄土宗、江戸増上寺末、安養山と号す、本尊弥陀を安ず、開山伝誉絶公は

天正十四年（1586）七月十五日寂す。

⑧地点 常休寺。

「新編武蔵風土記稿」同上

常休寺。同（浄土）宗、西福寺末、行基山と云、開山常誓は天正十四年十月十五日寂せり、本尊は弥陀にて行基の作なりと云。

⑨地点 再びA中道に入る。

⑩地点 これより本来の道幅（2間、約3m半）が残されている。

※⑩地点から東に分れる道は、下戸田村界から⑫→⑪と東行し、23地点から北上して下青木村界に向かうB村道。カーブする部分は、横曽根地区と川口駅を結ぶ重要道路としてA中道が拡幅された際に新設されたか？

⑪地点 A中道からB村道を下戸田方面に進む。

⑫地点 横曽根村の西側を区切る土手道。旧河川の自然堤防か？

※天和二年（1682）銘の馬頭観音。

⑬地点 横曽根村の水田からの排水を集めて荒川に落とす排水路（悪水）。上流は六ヶ村用水に接続し、現在は緑川と総称されている。

「武蔵国郡村誌」同上

鬼沢悪水。深三尺乃至五尺、幅三間。村の西北塚越村より来り、西方下戸田村に出入して南方浮間村に入る。長十六丁。 ※鬼沢→喜沢

⑭地点 喜沢（鬼沢）橋

⑮地点 「迅速測図」には本覚寺とあるが、正眼寺の誤り。

「新編武蔵風土記稿」同上

正眼寺。曹洞宗。江戸駒込吉祥寺末、青龍山と号す、本尊正観音を安ず、弘法大師の作なり、開山を元易と云、慶安三年（1650）三月十八日寂す。

⑯地点 本覚寺。

「新編武蔵風土記稿」同上

本覚寺。日蓮宗、身延山久遠寺末、光輝山と号す、本尊三宝を安ず、開山日現、大永六年（1526）二月三日寂せり。

⑰地点 横曽根氷川神社の旧社地。昭和48年（1973）に八幡社と合祀し、横曽根神社として⑱地点に移転。

「新編武蔵風土記稿」同上

氷川社。村内の鎮守なり、末社、稲荷社。別当東福院（本山修験、中尾村玉林院配下、本尊不動を安ず、開山を了密と云）。

⑱地点 横曽根神社。昭和48年に八幡社の社地に創祀された。なお、横曽根村には八幡社が2社あり、もう1社は西中学校の南側の堤外に鎮座していた。洪水のたびに社殿が流され、ここに漂着したと伝えられ、その故地に石祠が祀られている。いずれも吉祥院の守護神とされていた。

※天保三年（1832）銘の庚申塔と文化十四年（1817）銘の馬頭観音。

⑱地点 吉祥院、

「新編武蔵風土記稿」同上

吉祥院。新義真言宗、川口町錫杖寺末、珍珠山多門寺と号す、本尊毘沙門を安す、行基の作なりと云、開山宥鎮は文明七年（1475）五月廿一日寂す。

※吉祥院参道の石造物

- ・四国八十八箇所写六十七番碑（文化三年（1806））

※66番は下青木村龍泉寺、68番は横曽根村大光寺

69番は飯塚村最勝院、70番は川口町西善院

- ・六地藏（元禄七年（1694））
- ・石幢（五智如来・如意輪尊像）（寛文十一年（1671））
- ・奉順拝西国秩父坂東百ヶ所光明真言百万遍供養塔（道標）

西 中山道 わらび廿丁 川越七里

東 江戸日本橋四里 川口十六丁 千住三里

北 前川道

⑳地点 再びA中道に入り北上する。

21地点 中道から分れ、用水路（大井堀）跡沿いに進む。

23地点 ⑩地点から東進してきたB村道は、この先、用水路（大井堀）に沿って北上していたが、耕地整理によって消滅。24地点までは明治43年の川口町駅開業に伴い、整備された新道？

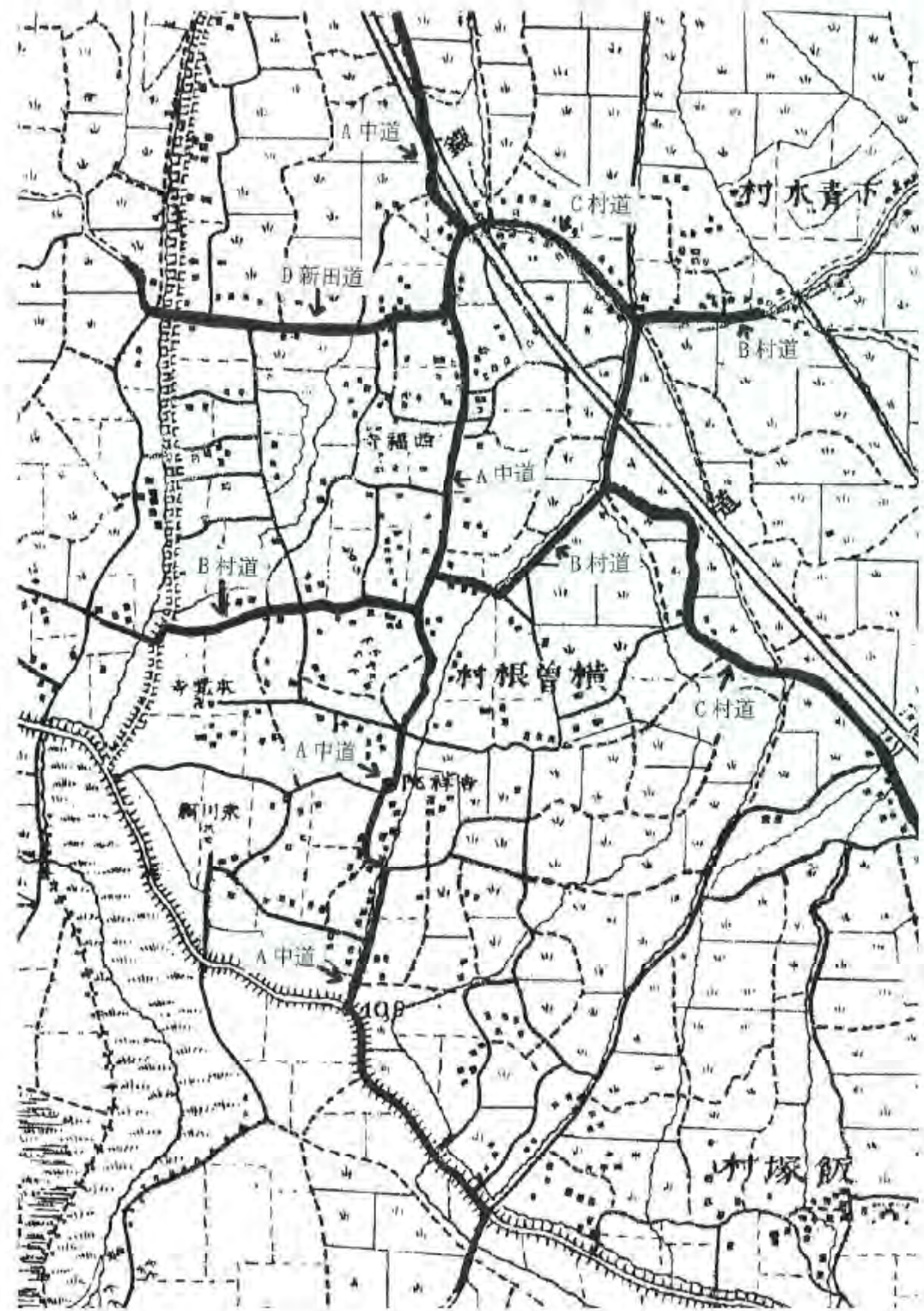
24地点 古道と同じ曲線。この付近でC村道と合流。

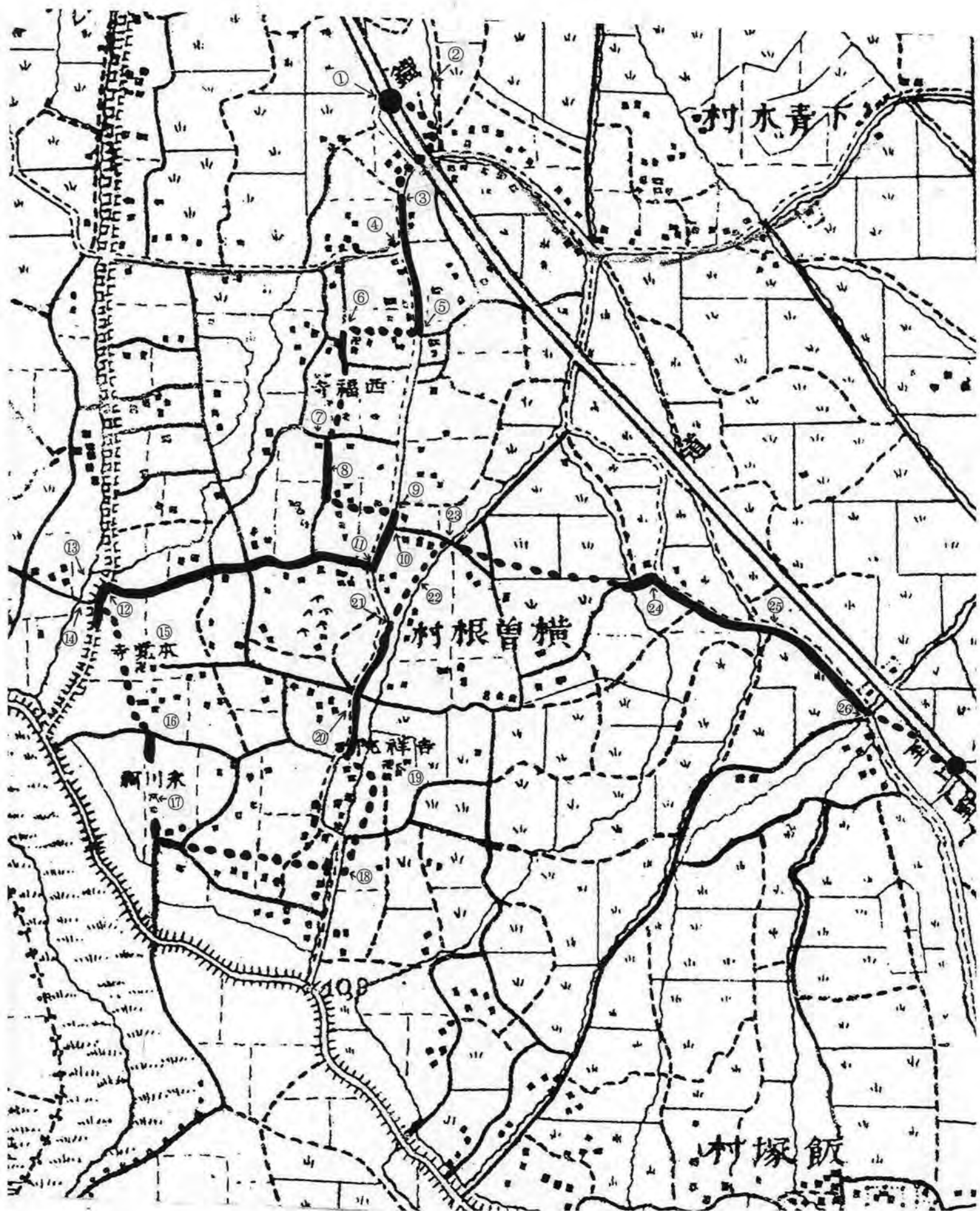
※二本木稻荷 文化八年（1811）に地元の遠山市太郎が勧請したと伝えられる。

25地点 古道と同じ曲線。

26地点 川口陸橋付近。

横曽根村の主要道路（推定）





村水青下

寺福西

村根曾横

寺荒本

河川末

寺光祥

村塚飯

108